



いちほまれ速報 No.7

【生育調査状況と今後の管理情報】

J A 福井県 福井基幹支店
福井農林総合事務所
福井地区いちほまれ研究会

● 登熟期間中は最適水管理で増収・品質向上！！

「いちほまれ」の生育は、例年より高い気温と日照量により1～2日程度早い状況となっています。8月4日には記録的短時間大雨により浸水、冠水した圃場やその他交通機関にも大きな影響を与えることとなりました。今後も台風やゲリラ豪雨など異常気象の発生が予想されますので天気予報に注意し圃場管理に努めましょう。また、「いちほまれ」も総仕上げの時期を迎えており、大切な時期となっております。収穫までは適切な水管理や病害虫対策を継続し収量・品質向上に向け適切な管理をお願いします。

1. 最適な水管理

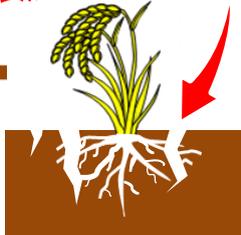
間断通水の管理の継続をお願いします。(3～5日に一回の入水を実施し圃場の渴きすぎに注意してください。)

間断通水



溝切り跡や足跡に水が残っている状態を維持しましょう。

渴きすぎは収量低下につながります！
根の断裂防止の為に「間断通水」！！



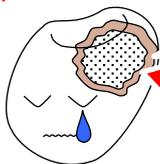
胴割粒

乳白粒

2. カメムシ防除

8月下旬頃にカメムシの発生が多い場合は、仕上げ防除(3回目)を行い、斑点米防止に努めましょう。

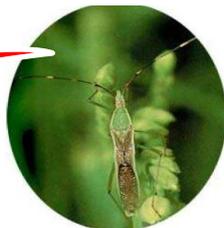
仕上げ防除で
斑点米を発生防止!!



斑点米



■ アカスジカスミカメ



■ クモヘリカメムシ

区分	薬剤名	収穫前日数
粉剤	スタークル粉剤	7日前
	ダントツH粉剤DL	7日前
	トレボン粉剤DL	7日前
液剤	スタークル液剤	7日前
	ダントツフロアブル	7日前

※使用の際には、必ず使用基準を遵守しましょう！

3. 収穫適期の判断

収穫期の予測は出穂からの積算気温1030℃を目安に、成熟程度を判断しましょう。

刈取り始めの目安は、青籾残存率15%、籾水分25%以下を確認し、刈取りを開始しましょう。降雨が続く場合は籾水分での判断が難しくなるので、青籾残存率で判断しましょう。

【積算気温による収穫期予測】

移植日	出穂期	成熟期(予測)
5月20日	8月5日	9月11日

福井県農業試験場データより



「いちほまれ」はコシヒカリに比べ止葉が長く、穂が見えにくい為、圃場周辺からの確認ではなく、圃場内に入り穂の状態を確認しましょう。

適期管理で品質・反収向上を目指しましょう。今週のいちほまれ速報は『永平寺支店』が担当しました。